

## Ⅲ-② 香川大学教授による大学出前授業(中学校)

中学3年生にもなると、教科の学習で学んでいる内容だけでなく、今現在の各分野における最先端がどのようなものであるのかに関心を示す。それが、大学研究レベルのとても難しい高度な内容であっても、「最先端を知りたい」という欲求がある。

本校では、毎年12月のオープンスクールの日、3年生を対象にして、香川大学の各学部の先生を招聘し、「大学出前授業」を実施している。教育学部、法学部、経済学部、医学部、農学部、創造工学部におけるそれぞれの教授からの話は、生徒たちにとって、大学が身近になるだけでなく、その分野の最先端を知り、未来社会の可能性を感じ取る貴重な機会となっている。また、このような機会が、本校がめざす「生涯にわたって学び続ける生徒の育成」の1つのきっかけになればと期待している。



医学部：横平先生



教育学部：小森先生



経済学部：原先生



創造工学部：鶴町先生



農学部：秋光先生



法学部：鹿子嶋先生



光の分光器を自作して楽しく実験



意欲的なまなざしで熱心に学ぶ

## 中学生の声(一部)

### 【医学部:横平先生】

・医学部に進学すると、研究したり診療したりと、たくさんの人の役に立てることが分かりました。私は、医療に携わる仕事がしたいと思っているので、今回の授業はとても真剣に聞くことができました。毎日研究や診療をされている医師は、本当に社会貢献できるやりがいのある仕事だと思います。

・主にかん研究についてお話してくださいました。私は、医療に興味があったのと、妹が医師になりたいとのことで先生の授業を選びました。先生は、大学でがんについて研究を行っていると聴きました。どこの細胞や神経を切ればがんがなくなるのか。どんなものがその病気に効果的なのか。様々なことを中学生にも分かるように説明していただき、よく理解できました。家でも今日聴いたことを妹や家族に話し、将来についてさらに考えていきたいです。

### 【教育学部:小森先生】

・僕がこの授業で一番心に残った言葉は、アインシュタインの言葉「学べば学ぶほど自分の無知が分かる。そして無知を知れば知るほどより一層学びたくなる。」です。学べば学ぶほど多くの知識を得ることができるけど、振り返って初めに戻ってみれば、意外と知らないこともあって疑問に思うことも多いと思います。でも、その疑問も研究のためにとても大切だと分かりました。

・大学では、自分の興味をもった分野をどの分野よりも深く学ぶことができ、良いなと思いました。また、「粒子」についても知ることができました。先生の授業を聴いて、これからは学ぶことによって生まれる疑問を大切にしようと思います。疑問に思ったことをさらに調べて、学びを深めていくことを心がけていきたいです。

#### 【経済学部:原先生】

・私の父が経済関係の仕事に就いており、経済についても興味があるので、グラフから分かることを読み取る作業を体験できて良かったです。香川県の外国人宿泊者数の伸び率は高く、これからも香川県をPRしていけば、もっと増やせると思いました。今まで以上に観光客数を増やす方法を、自分でも考えてみたいと思いました。

・私は経済に対して少し難しいイメージがありました。でも、香川県が思っていたよりも観光に力を入れていてがんばっていることが分かりました。また、研究費で色々なところに行けるのも経済学部の1つの魅力でいいなと思いました。観光などにより興味がわきました。

#### 【創造工学部:鶴町先生】

・今日の授業を聴いて、当たり前だと思っていた光の作用にも、きちんと原理があると分かりました。私が今見えている色もすべて、光の足し算や引き算でできているということで、光は私たちに大きな影響を与えていることが分かりました。私たちがいつも使っているものにもすべて理由があり、その仕組みをもっと知りたいと思いました。

・レーザーで風船が割れるところを見たときは驚きました。光のみで風船のゴムが焼けるのはとてもすぐでした。レーザーというのはアニメでしか見たことがなくて、現実でも見えるのかなと思っていました。ガンダムの剣はレーザーではありませんでした。今までずっとレーザーだと思っていました。

#### 【農学部:秋光先生】

・希少糖は、医学にも農学にも、本当に色々な分野に役立てられていることが分かりました。自分が思っている以上に希少糖には道が広がっていることに気づき驚きました。香川県で希少糖の世界最先端の技術が生み出されていることを知り、香川県に住む者として誇らしく思ったし、希少糖の研究をやってみたいと思いました。私も何か新しい発見をして、自分オリジナルの新しい名前を付けられるようになりたいです。希少糖によるもっと輝く未来が今から楽しみです。

・希少糖を開発したのが香川大学であることにすごくびっくりしました。研究をあきらめずにしたため、このような素晴らしい結果になり、また様々な人が協力して成功したことは本当にすごいと思いました。私も何事にも挑戦して、失敗しても批判されても、めげずにがんばりたいと思います。

#### 【法学部:鹿子嶋先生】

・今日は、コピー裁判を取り上げて、法について学びました。規正法や公文書はとても難しかったけれど、じっくり読んでいくと何となく分かってきました。法に関する事例として、今話題になっている「桜を見る会」があげられました。これまで考えることがあまりありませんでしたが、これからは身近なニュースと照らし合わせて法について学んでいきたいです。私の母も法学部に通っていました。私も母のような人になれるように、これから法にもっと興味をもっていきたいです。

・私にとって法の授業はとても難しかったです。しかし、普段から日常生活の中で法に触れてきたんだなと改めて感じることができました。また、先生が少数意見に味方して反対意見を論破していく姿は本当にすごいなと思いました。文をよく読み解く力が必要になるんだと思いました。